【授業科目】精神看護援助論Ⅱ(精神障がいと看護)　Metal Health and Psychiatric NursingⅡ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
松田 陽子、大西 信行	３年次 前　期	必　修	1	３０	演 習	あり	巻末 掲載	否

授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／精神疾患をもちながら生活する人への適切な関わり方や必要な看護援助について学習を深める。 精神疾患をもつ対象を理解し、適切な援助方法を習得するために、ロールプレイの演習や実際にプロセスレコードを記載し学習を深める。また、精神疾患をもつ対象についての理解を深め、対象者を理解するために必要なデータを収集し、バイオ・サイコ・ソーシャルな側面から全人的に対象を捉え、アセスメント・看護計画の立案を行う。 事例から、精神疾患による人生・生活への影響を検討し、必要な支援について演習を通して学習を行う。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／毎回振り返り表を学生は記入し、学習状況を確認する。質問内容等については全体に適宜講義中にﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸする。課題提出に関しては、内容にコメントを記載し講義中に返却を行ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸする。
実務経験に関する 授業内容	看護師の臨床経験を持つ教員が、看護師として必要な精神看護の知識ついて、資料・教材を交えながら指導していく科目である。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①　精神看護における看護師-患者関係について理解を深め、看護の実際を理解できる。 ②　精神疾患をもちながら生活する人とその家族への理解を深め、対象者の状態に合わせた看護援助のプロセスと方法を理解し、看護計画に立案できる。 ③　精神疾患をもつ対象者への基本的な援助と看護の実際を立案できる。
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	第1～3、5、6、9～11、13～15回　教科書、精神看護学援助論Ⅰの講義資料の他、精神疾患を持つ対象の理解を深めるために、参考書等を活用しながら精神疾患を持つ対象への看護について復習すること（各３０分）。 第4、7～8、12回　演習ごとに提示された課題の記録をその都度整理する。解説を基に、記録用紙に情報を追加・修正していき確認すること（各３０分）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	
第１回　患者－看護師関係、自己洞察の方法 患者－看護師関係　自己洞察の意義、プロセスレコードの書き方、 治療的コミュニケーション、次週からのロールプレイの説明	①大西
第２・３回　患者―看護師関係　精神症状のある患者さんへの対応 ロールプレイ（前半、後半に分かれて） 治療的コミュニケーションとは（前半・後半に分かれて　自己学習）	②③大西・松田
第４回　プロセスレコード作成 課題①プロセスレコード提出	④大西・松田
第５回　看護過程：精神疾患をもつ対象者の理解と個別的な援助を導き出すために ゴードンの看護理論、事例紹介：統合失調症患者	⑤松田
第６回　精神疾患をもつ対象者の理解：事例から看護過程を展開する データベースの紹介（整理分類の方法）、アセスメント	⑥松田
第７・８回　精神疾患をもつ対象者の理解：事例から看護過程を展開する データベースの意味を理解しながら情報整理、アセスメント 課題②：データベース・アセスメント（6/3 火 1　講義終了時）	⑦⑧松田・大西
第９回　プロセスレコードフィードバック （プロセスレコード返却）	⑨大西
第10回　精神疾患をもつ対象者の理解：データベース・アセスメントの解説 （看護過程返却）	⑩松田
第11・12回　精神疾患をもつ対象者の理解:全体像のまとめ、ケアプランの作成 データベース・アセスメントをもとに、優先度の高い看護問題の抽出と看護目標を設定 看護問題、目標の設定の説明　ケアプランを作成する：具体策の立案 課題③修正したデータベース・アセスメント、全体像、ケアプラン	⑪⑫松田
第13回　精神疾患をもつ人への看護：ワークシートの作成 事例Ａさんの受け持ち３日目の情報追加、３日目の行動計画の立案	⑬松田
第14回　精神科病棟での看護の実際 精神科認定看護師による講義「精神科看護の実践」	⑭松田・大西
第15回　精神疾患をもつ人への看護：全体像 ケアプランの解説 看護過程まとめ、臨床現場における患者－看護師関係、セクシャリティ	⑮松田

評価方法 評価基準	課題①プロセスレコード30%、②看護過程(データベース・アセスメント)30%、③全体像、ケアプラン30%、受講態度10%		
教科書	『精神看護概論・精神保健』メヂカルフレンド社 『精神障害を持つ人の看護』メヂカルフレンド社 (2年次前期「精神看護学概論」で使用したものを使用)	参考書等	なし
学生への 助言等	主に看護過程の展開とロールプレイやプロセスレコードの演習を通して看護の実際を学んでいきます。授業に出席し、毎回の課題をクリアしていくことが要求されます。授業中の飲食・教室の原則出入り禁止、携帯電話禁止。		